

第 1 1 回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中島さんが提案されたことに賛成です。</li> <li>● ①とりまとめは事務局だけでなく、住民参加で行うこと。</li> <li>● ②広く意見を聴く会をすみやかに行うこと。</li> <li>● 取りまとめがすんでからでは意味がなく、今の段階から並行して行うこと。ぜひ実施して下さい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和 41 年の都市計画(40 年以上前)をそのまま実行しようとするのは、環境が大きく変化しているなかでは理解できない。(今回も納得できなかった)計画を実行する一番のメリット(目的)は何だと考えているのか。</li> <li>● 構成員の欠席が多過ぎる。困難と思うが十分調整して欲しい。(特に「公募」構成員)</li> <li>● 「都市計画変更素案のあらまし」の道路整備事例(写真 9~10 頁)のそれぞれの道路幅員は何mか。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高速道路の高架下として残された都道といっているが、地下になったので外環の 2 は必要ないと思います。人口減、車の減を考えても、住宅を壊してつくる必要性はないのです。外環の 2(地上部街路)はつくらないで下さい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 議論になっていないです。ご意見を参考に、というだけでなく反論があれば反論すべき。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地上部街路に、ゆりかもめや日暮里舎人ライナーのような無人交通システムを整備して、交通網の充実を図ってほしい。そのために幅員を 22m から 24 m 程度に広げるのがよろしいと考える。</li> <li>● 東京都は道路をつくるのに加えて市街地再開発事業を行い、共同住宅や福利施設や公共施設などをつくってほしい。</li> <li>● 外環本線の青梅街道 IC はハーフ方式の計画だが、将来フル方式に変更できるのか教えてほしい。(トンネル部に後から南方面のランプをつくることはできるか教えてほしい) 青梅街道 IC をフル方式でつくるためには、南方向に出入りする入口を、千川通りや新青梅街道などに設ける方法も検討してほしい。</li> <li>● 青梅街道 IC を取り囲むように練馬区側にロータリーやループ状の道路をつくってほしい。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の要望を口実としてのみ利用して、これまでの計画を決定、推進してきた都のまとめの偏りが再度明らかに指摘されました。このような態度は住民にますます信頼感を失わせ、都の施策の一方的なごり押しを印象づけるものです。話し合いの会の趣旨は両サイドが納得、理解することであると住民は思っています。計画側は住民に勝手に言わせておいて「話を聞いた」という事実のみを得たいためという、政治は倫理とは無関係という発想が間違っていると思います。(民主団体の公僕としてのお役人としては無責任です)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>武田課長は地下化までのやり方に無知のまま、法律としての外環の2ありきとしてこの席に臨んでいるのです。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会者、中村隆司氏の今回の手当はいくら支払われているのですか。地上部街路に多額の税金を使われ、しかも住民の多くが反対しているにも関わらず、国民の為とは、税金の無駄遣いもはなはだしい。司会者の負う所が大きいのに、不適任の声が多く出ているのに、居続け、時間のロスがひど過ぎる。税金から彼にいくら支払われているのか。回答頂きたい。税金ドロボーの集団にしか見えてこない。誠実だったら出世できない。「住民の心が一番固い」の発言を受け止めて。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>都の新課長さん、練馬区のパブリックコメントについて、もし古川構成員からの厳密な報告がなかったら安西係長の「大半は賛成」をそのまま受け入れていたのではありませんか？</li> <li>その様な重要な事を知らなかった訳ですが、ご自分のこの任に就くに当たっての真剣さについて、係長の不正な発言について、どの様にお考えかお聞かせ下さい。</li> <li>今後の誠実な対応を期待しております。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>外環の2は、納得できないです。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>「外環の2」の練馬の1km、3kmの先行については練馬区の関与が疑われるので、練馬区からもこの会に出席してもらいたい。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会者は役割をきちんと果たされることを望みます。</li> <li>都は練馬区民の「外環の2」に対する考え方をきちんと把握しておくべきだ。練馬区が行ったパブコメを、1枚ずつ目を通して住民の想いを理解すべく努力すべきだ。練馬区行政の言いなりにならずに。「外環の2」は「ネットワークとしての外環の2」だったはず。本線と共に地下に潜ったという件も含め、原点に戻ってまず練馬3km部分を取り消して再検討してほしい。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>古川構成員の意見書(資料11-4)は、武田新課長も力作と認めた通りすばらしい内容で感動した。計画沿線の住民の90%以上の気持ちを代弁していると思う。この貴重な意見を行政が無にすることがないよう切に願う。</li> <li>中島・古川氏などの指摘で、外環の2計画は、一旦廃案にすると決め、その旨を住民に公表したあとで東京都が計画を消さないという奸計を弄して復活を企てたことが明らかになったと思う。いわばゾンビ計画。そしてその後、建設推進側は計画があるからという理由でごり押し。しかし計画は行政側の裁量で容易に廃止できる筈だ。例えば東名以南の付属道路や昭和61年の大泉～和光間の側道のように。単に計画が残っているという理由で横車を押すのは許せない。何が何でも道路をつくる、という時代ではない。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月28日の会は、外環の2の計画そのものの存在への疑義が提起された。何度聴いても、都の説明と「たたき台」「有識者委員会」提言、それと2003年1月の都、国の方針発表の流れが極めてちぐはぐである。そのことに、都</li> </ul>

	<p>はもっと真面目に対するべきであり、そうであれば今の話し合いの会は「新たな道路計画」の検討の場に位置づけられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● さくら町会 149 名のほとんどが反対している状態で、都はその人たちを無理矢理立ち退かせようとするのか？ そんな理不尽で乱暴な公共事業は、存在してはいけない。</li></ul>
--	--